

2023年5月26日

## SUBARU 大型航空機中央翼製造累計 3,000 機を達成

SUBARU は、2023年5月、製造累計 3,000 機目となる大型航空機中央翼\*1 を当社航空宇宙カンパニー半田工場（愛知県半田市）から出荷しました。

なお、「ボーイング 787」用中央翼が累計 3,000 機目となりました。

SUBARU 航空宇宙カンパニーでは、航空機の完成機製造・整備に加え、大型航空機中央翼や主翼等航空機コンポーネントの開発・製造も主要事業の一つとして行っています。

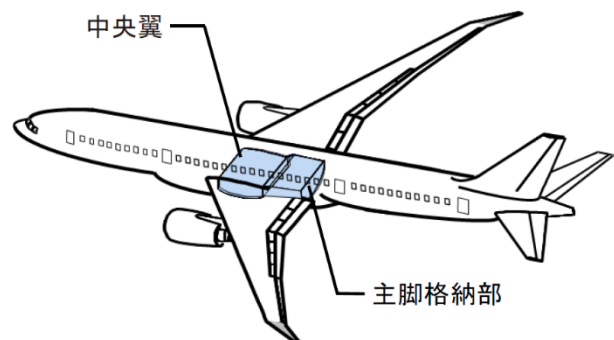
半田工場では、1993年7月に「ボーイング 777」用中央翼を製造および出荷した後、世界有数の大型航空機中央翼製造工場として「ボーイング 787」、「ボーイング 777X」に加え、防衛省の「固定翼哨戒機(P-1)」、および「輸送機(C-2)」も含めた、5機種的大型航空機中央翼を専用ラインにて製造しています。

SUBARU は、今後も品質と安全を第一として自社技術に磨きをかけ、航空機コンポーネントの開発・製造に加え、整備・教育といったトータルサポートを含めた航空機システムをお客様に提供していきます。

\*1: 航空機の左右の主翼と前後胴体をつなぎ荷重を支え、なおかつ燃料タンクとしても機能する機体構造の主要な部位の一つ



中央翼製造累計 3,000 機記念



中央翼

<ニュースリリース SUBARU ボーイング 787 型機中央翼の生産累計機数 1,000 機を達成>

[https://www.subaru.co.jp/press/news/2020\\_01\\_08\\_8150/](https://www.subaru.co.jp/press/news/2020_01_08_8150/)